

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年2月27日（木）

2 確認箇所

増設多核種除去設備（図1）

3 確認項目

増設多核種除去設備点検作業の状況

4 確認結果の概要

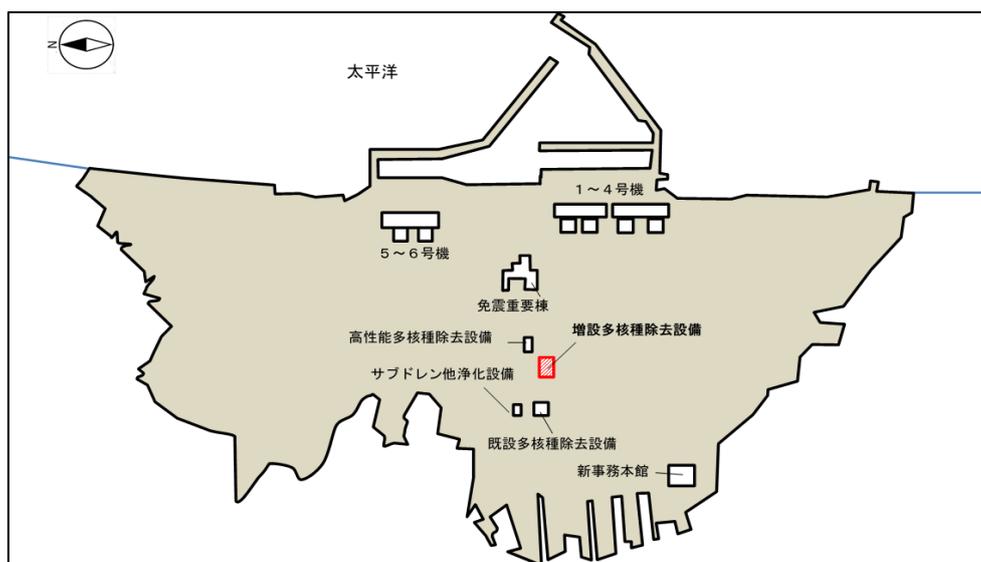
福島第一原子力発電所では「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染(令和5年10月)」や「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい(令和6年2月)」など、汚染水処理設備に関するトラブルが連続して発生している。そのため、汚染水処理設備の運転状況や設備機器の点検状況を適宜、継続確認している。

本日は、増設多核種除去設備（以下「増設ALPS」という。）建屋内で実施されている設備機器の点検作業等の状況を確認した。（前回確認日：令和6年12月17日）

- ・現場確認時、建屋西側に設置されている増設ALPS（A系）クロス・フロー・フィルタ※（以下「CFF」という。）の洗浄作業が行われていた。
- ・洗浄作業に使用するろ過水を送り込むための薬液タンク周辺には、汚染防止のためのアノラックを着用した複数の作業員が配置され、手順書に記載された作業内容を復唱しながら洗浄作業が行われていた。また、東京電力社員が現場に臨場しており、手順書に基づき作業が行われていることを確認していた。（写真1）
- ・建屋東側に設置されている増設ALPS（C系）共沈タンク制御盤において、配線の確認作業が行われていた。（写真2）
- ・建屋内を確認した範囲では、配管や設備からの漏えい、水たまり等の異常は認められなかった。

※ クロス・フロー・フィルタ（CFF）

ろ過膜に対し平行に原液を流し固体と液体を分離するろ過方式の一種。ろ過膜の目詰まりが生じにくく、微粒子を連続してろ過できるという特徴がある。ワイン製造にも用いられる一般的なろ過方式。増設ALPSでは、汚染水の処理工程で発生する沈殿物を除去するために用いられている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
増設ALPS(A系)CFF洗浄作業の実施状況



(写真2)
増設ALPS(C系)共沈タンク制御盤配線確認作業の実施状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。